

平素は本市の教育活動にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

また、長期にわたる新型コロナウイルス感染症拡大防止にかかる対策にご理解、ご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

保護者の皆さまには、従来とは異なるデルタ株の感染拡大が続く中二学期を迎えましたので、ご心配や不安が大きいことは承知しております。

府下では、いくつかの市が夏休み期間の延長、オンライン授業、給食のない午前中のみ授業などを実施されています。我々も二学期を迎えるにあたり検討をいたしました。

昨年度の長期の臨時休校中にオンライン授業を行った市では、低学年での操作や家庭の負担など困難があったことをお聞きしました。また、緊急事態宣言が延長で、どれだけの期間オンライン授業や分散登校を行えばいいのか、出口が見えません。それは、子どもが家でいつまで待機しなければいけないのか先が見えないということになります。それらのことや大阪府からの通常授業の実施という通知も踏まえ、二学期の始業にあたり、オンライン授業ではなく、学校での対面授業をすることといたしました。

ただ、新学期、コロナ感染の不安から出席できない児童・生徒へはオンライン授業を実施しており、もちろん、臨時休校となった場合は、すべてオンライン授業を実施いたします。

また、対面授業を行う場合、給食時の使用が主であった個人用パーティションを授業中にも使用する等、これまでの換気やマスク着用に加えて感染防止対策を取るようにしています。

分散登校を行う市では、ニグループに分け一日おきの登校あるいは午前午後に分けての登校となっています。学校に来ない日は子どもが家にいることとなりますので、子どもの精神的な負担やご家庭それぞれの状況などを考え、二学期当初は分散登校を実施いたしませんでした。昨年、三か月にわたる臨時休業が終わり学校が再開される6月、交野市独自に、学級の在籍児童・生徒の人数が20人台となるよう、30人を超える学級は教室を二つに分け「分散授業」を行いました。中学校では全校「分散授業」を行いました。今後も、感染状況から「分散授業」を行う可能性については学校に指示しております。

夏休みの延長やオンライン授業、隔日の分散登校などの対応を行った市の多くは、二学期始業の時点で親世代の年齢のかたがワクチン接種の予約ができない状況でした。交野市は12歳以上の全年齢区分にワクチン接種を広げていますし、学びを止めないため教職員のワクチン接種も進めました。

また、夏休み中、そして今も子どもの感染がありますが、現状は学校外での感染です。そのため、今のような対応をしておりますが、これを変えないというものではありません。学校での児童・生徒間の感染が広がるようなら、広がる兆しが見えるようなら、分散授業、分散登校、オンライン授業等に変更いたします。

日本小児科学会・日本小児科医会は8月26日のメッセージで、「学校活動を維持することは、子どもの健全な発育のためにも最も重要な優先事項」「引き続き、効果的な感染対策（例えば不織布マスクの着用や教室の十分な換気）を徹底」「学校や学習塾、学童保育の教育員等には、子どもの最善の利益のために、積極的なワクチンの接種」と示しています。大事なことは、今までしてきたことを再徹底することだと考えます。

感染拡大を防ぎながら子どもたちの学校での活動を守りたいということは、保護者の皆様、教職員、そして我々教育委員会の職員共通のおもいです。

今後とも、どうかご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。